

第10回(仮称)釜ヶ崎夜間学校

一人でも多くの仲間の参加を!

11月6日

夜々時より「喜望の家」一階にて——。

今日のテーマ『人夫出しについて』

その2
』

釜ヶ崎の働く仲間みなさん!

今夕、第10回の「(仮称)夜間学校」が夜7時より「喜望の家」で行われます。

今日のテーマは、先月より1週に引き続き、

「人夫出し(その2)」。

今回は人夫出し形成の歴史をもとに考えながら、各自の体験を交えて話し合って行きたいと考えています。

先月の「人夫出しについて(その1)」

では、集まった仲間の関心も高く、活発な話し合いになったが、大きく2つの意見があったように思います。一方は、人夫出しが「制度」として現実存在している以上、悪質な人夫出しから仕事に行く労働者が悪い、もったいいえば、そのよ

うな人夫出しをのさばらせている責任は

労働者にあるというもの。他方は、そ

うであるにしろ、弱い立場にある労働

者につけ込み、ピンハネや賃金未払い、

暴力事件まで起す人夫出しが悪い、との意見です。

どちらにしても、現実「人夫出し」

からでも仕事に行かないとメシが食え

ない。そこで、今日の「夜間学校」で

は、密陽の「制度」としてある「人夫

出し」がどのような状況で出てきたの

か、「飯場」の歴史はどんなものかを

考えながら、話し合いたいと思います。

みんなあつまれ!!

一九八〇年十一月六日

「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」

運営委員会準備会

前回の報告と

次回の案内——

前回、10月16日は「アルコール中毒」についてをテーマに行ないました。

酒がからむ話しになると、皆、日頃身につまされているせいか、ビウをわたした時にも、何となく来にくいというフン意気だ、たようです。

そんなわけで、参加者もいつもより少なめでした。それでも集まった者で

「アルコール中毒」といわれるアルコ

ール依存がどうしてつくられていくの

か、なぜ釜ヶ崎に多いのが熱心に話し

合いました。酒、と聞けば、あー止め

んといかな、ということではなく、も

っとオープンに話せるようになればよ

いなーと思います。

次回は11月20日です。

テーマは「越冬」についてを予定しています。是非参加して下さい!

入場無料! ヒヤカシ歓迎!

(仮称)釜ヶ崎夜間学校 ココロズ

特別集会 10人に1人がかかっている 結核の話

特報

がんばれば必ずなおる！
自分のからだは自分で守れる！！

過去でなく
今の病気を
結核

日本で「結核は過去の病気といわれ
ています。しかし、ここ釜ヶ崎では、
十人に一人が結核にかかっている今の
病気なのです。

一〇月二三日に、ネパールの奥地で
約二〇年間結核の治療に取り組んでこ
うれた岩村昇先生を特別講師として夜
間学校で二三名の仲間と話を聞き語り
あいました。

「ちよつとしんどい」と思って医者に
みてもらう「たう」もう肺がぼろぼろ
になっていてすぐ入院。しかし、し
んぼうでさすし自己退院というケース
も少なくないのが、釜ヶ崎の結核の特
徴でもあります。当日は、参加者みんな
で、「どうしたら治せるか」を考えて
みました。

結核の徴候は

— こんな時はすぐ医者に —

- (一) だるい感じ。
- (二) せきがよくでる。
- (三) ねあせをかく。
- (四) 微熱(へびねつ)がつづく。

これらの徴候があらわれたら、遠慮せ
ずに医者にみてもらうこと。結核の菌
は目に見えないが、肺にすみついたら
どんどん増えていきます。結核とわか
って治療をはじめても、途中でやめる
と何の意味もありません。後で薬が
きかなくなり、大切なことは、早
くつづけて治療することです。酒をの
むと、体も熱くなり、結核菌も活発に
なり治ることはありません。やっぱり
薬をのめながら酒をのんで治そうとす
ることは、間違いであるのです。

結核治療の要点

— つづけて守れば必ず治る —

- (一) 病状に合った正しい処方。
- (二) 服薬は確実に。
- (三) 副作用の配慮も。
- (四) 痰(たん)の検査を定期的に。
→ 毎月一回ぐらい

かかりはじめであれば、ドヤから通院
しながらでも治せます。

自分たちで守れる

かゝったのしくみ
わたしたちのかゝたは、自分で守れる
しくみになっています。それはまず、

「自然な生活(早寝・早起き)をすること。
なのです。十分な休息と栄養がなければ
どんなに働いて消耗しても元気があらずだ
をたもてません。このあたりまえのことが
一番大切なのです。栄養も守って食べら
れます。大豆・なつとう・トウモロコシ・小
魚などです。酒よりも牛乳がたんぱく質
「自分がかゝたの岩村先生の経験のことは、
よく聞いてください。あなたがかゝたは
必ず治ります」

みんながつくるひろば
(仮称)釜ヶ崎夜間学校

運営委員会準備会

